

梅津北児童館	目標	○利用者からの多種多様なニーズに応えられる多機能性を生かし、地域全体で子どもを育てていくための中核的役割を果たします。 ○地域に寄り添い、地域の拠点となり広報に努めるとともに子どもの最善の利益を優先し、「こどもまんなか」を意識した育成を目指します。	○学童クラブを「安心できる居場所・拠り所」として確立していきます。 ○異年齢集団としての連帯感を深めとともに、互いの違いを認め尊重し合える関係を築きます。 ○個々の状況に応じた支援のもと、自立に向けた生活習慣を身につける力を育みます。 ○家庭や関係機関と連携し、保護者が安心して子育てできるよう支援します。
	成果	○「乳幼児クラブ」や「広場活動」を通して子育て家庭のつながりを大切に取り組みました。今年も転入してこられた方や第一子の保護者にとって地域の情報が得やすいように保護者同士の関係をつなぐことを意識した支援をしました。その結果、クラブや広場後も「ランチタイム」や「カフェタイム」を落ち着いた情報交換の場として利用いただくことができました。 ○学校や地域との連携事業を充実させました。特に社会福祉協議会の皆様と連携を図り、独居高齢者の方へ向けて子どもたちが植えたお花を届ける取組は大変好評をいただきました。 ○子どものやりたい声を拾い「ぬりえ大会」「紙飛行機大会」等を実施しました。特に「おばけやしき」は高学年の意見も多く取り入れ準備を進め、当日は親子の参加者も多く、準備した子どもたちの満足度も高い行事となりました。	○今年もメッセージアプリを用いて日々の子どもの様子を丁寧に伝えて情報を共有することで「安心できる居場所」づくりに努めました。さらに、学童クラブの保護者同士をつなぐことを目的の1つとして開いた交流会では、みんなあそびを体験していただく日や、いちご狩りとケーキ作りをする日があり保護者同士の交流を促すことができました。 ○3年生会議を月1回定例化して、みんな遊びの進行を3年生中心に進めてもらい、学童クラブの年長という意識をもつよう促していきました。1年間続けていくことで異年齢集団の連携を深めていくことができました。 ○日常から小学校との情報共有はしていますが、今年は夏休み前に各クラスの教職員の方と情報交換を行い、長期休業中のきめ細かな支援につなげることができました。 ○年度後半より、育成室や廊下の清掃を子ども達と毎日行うことにより、特に整理整頓の意識づけを促すことができました。